

ORICON

2015年3月期 決算説明会資料

2015年5月8日

オリコン株式会社（証券コード：4800）

アジェンダ

1. 2015年3月期 決算の概要
2. 2016年3月期の見通し
3. 事業の取組み
4. ご参考データ

- モバイル事業の売上が縮小（前期比▲21.9%）、雑誌事業（前期比▲15.4%）等も苦戦。一方、WEB向け広告販売は、顧客満足度ランキング連動型広告販売が前期比+24.0%に。バナー広告販売においても、スマートフォンへのシフトが順調に進み売上高は前期比で2倍に拡大。
- 売上減少に伴う変動費、およびコスト管理の徹底により、売上原価は抑制されました。
- 下記新規事業への先行投資により販管費が増加。
 - ・再生可能エネルギー分野における取り組み
 - ・ビッグデータを活用した金融プロジェクト

売上高：	4,510 百万円	前期比	10.4% 減
営業利益：	495 百万円	前期比	26.3% 減
経常利益：	440 百万円	前期比	30.4% 減
純利益：	231 百万円	前期比	12.8% 増 (4期ぶりの増益)

1-2 連結損益計算書

(単位：百万円)	2014年3月期	2015年3月期	前期比	
			(額)	(率)
売上高	5,032	4,510	▲522	▲10.4%
売上原価 (原価率)	2,703 (53.7%)	2,260 (50.1%)	▲443	▲16.4%
差引売上総利益 (売上総利益率)	2,329 (46.3%)	2,250 (49.9%)	▲78	▲3.4%
販管費 (販管費率)	1,656 (32.9%)	1,754 (38.9%)	+97	+5.9%
営業利益 (営業利益率)	672 (13.4%)	495 (11.0%)	▲176	▲26.3%
経常利益 (経常利益率)	632 (12.6%)	440 (9.8%)	▲192	▲30.4%
税引前純利益 (税引前利益率)	437 (8.7%)	460 (10.2%)	+23	+5.4%
当期純利益 (純利益率)	204 (4.1%)	231 (5.1%)	+26	+12.8%

【売上高】

- 主な減収要因
 - ・モバイル事業 ▲445百万円 (▲21.9%)
 - ・雑誌事業 ▲171百万円 (▲15.4%)
 - ・ゲーム事業 ▲87百万円 (▲47.7%)
- 主な増収要因
 - ・コミュニケーション事業 +169百万円 (+15.1%)
 - ・太陽光発電事業 +12百万円 (+36.5%)

【売上原価】
売上減少に伴う変動費 ▲397百万円

● 売上原価の抑制により、売上総利益率が前年同期比で3.6ポイント改善。

【販管費】

- ・エネルギー関連 +65百万円
- ・ビッグデータ関連 +76百万円

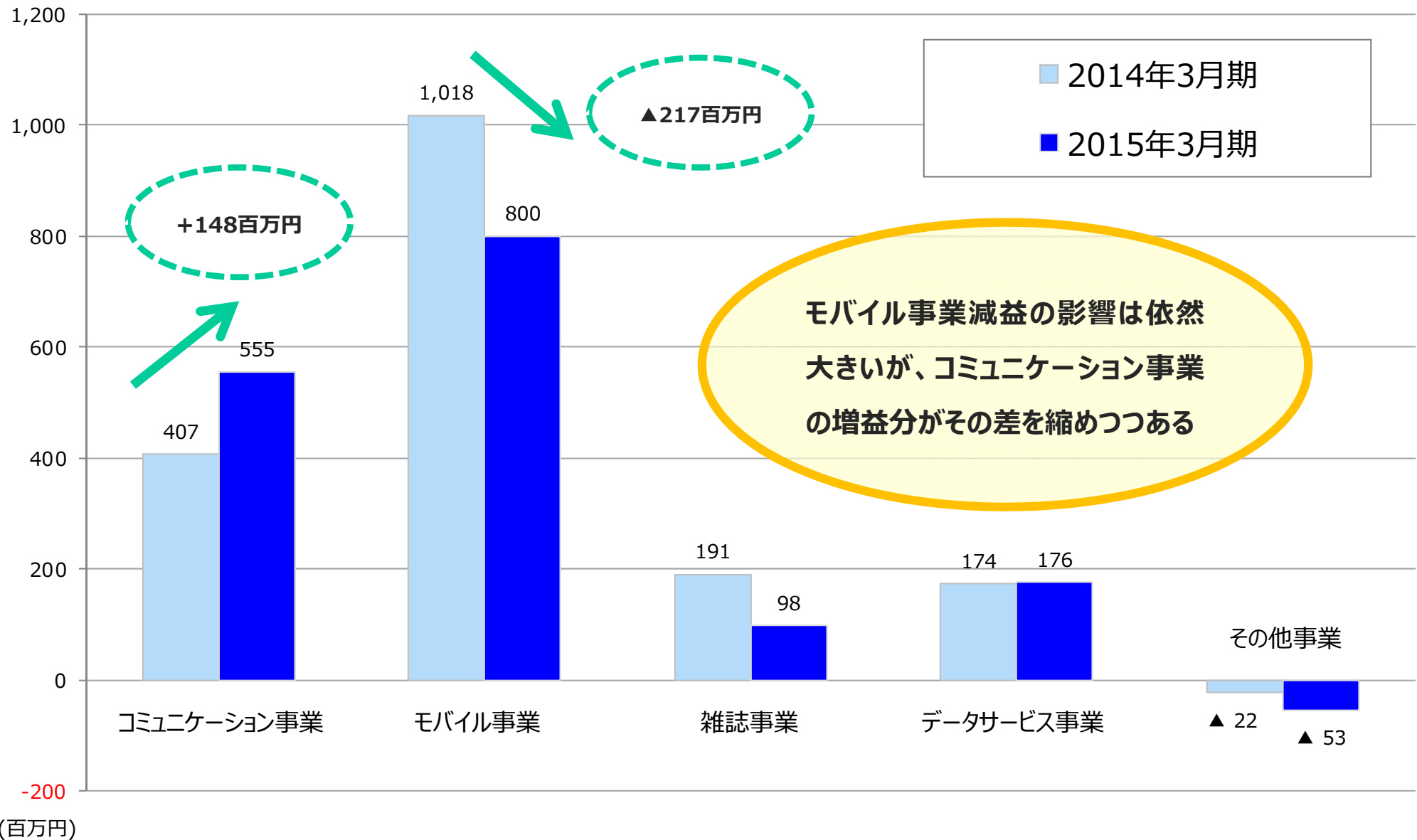
・固定資産売却益 +21百万円

モバイル事業 前期比▲21.9% コミュニケーション事業 前期比+15.1%

(単位：百万円、百万円未満を切捨て)	2014年3月期	2015年3月期	前期比	
			(額)	(率)
コミュニケーション事業	1,116	1,285	+169	+15.1%
WEB広告販売	1,056	1,232	+176	+16.7%
顧客満足度ランキング連動型広告	512	635	+122	+24.0%
バナー型広告・タイアップ型広告等	543	597	+53	+9.9% ※
データ・コンテンツ販売等	60	53	▲7	▲12.6%
モバイル事業	2,035	1,590	▲445	▲21.9%
フィーチャーフォン向け（着うたフル・着うた・着メロ・情報系）	1,621	1,189	▲432	▲26.7%
スマートフォン向け音楽配信	414	401	▲13	▲3.2%
雑誌事業	1,112	941	▲171	▲15.4%
データサービス事業	546	548	+1	+0.3%
その他（ソーシャルゲーム事業・太陽光発電事業等）	220	144	▲76	▲34.6%
売上高合計	5,032	4,510	▲522	▲10.4%

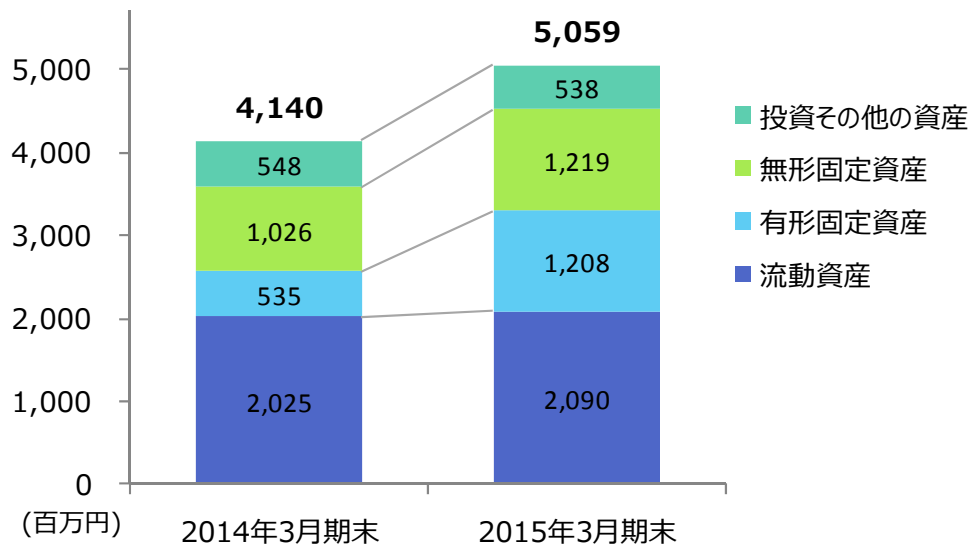
※バナー・タイアップ広告につきましては、+9.9%となっておりますが、前期9月にスポットの大型受注による売上が45百万円あり、この差分を控除して見ると前期比+19.8%となりますので、事業の実体としては堅調に推移しております。

モバイル事業 前期比▲21.7% コミュニケーション事業 前期比+36.4%



1-5 連結貸借対照表

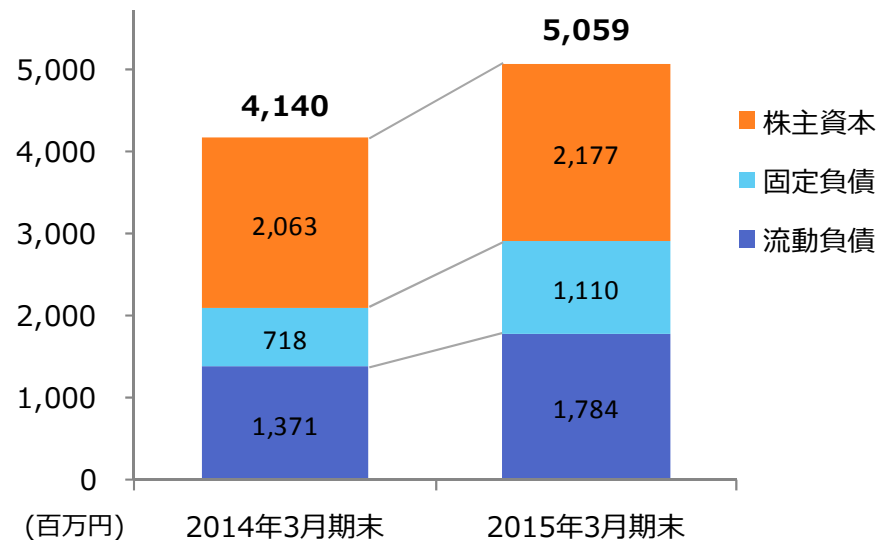
● 資産



メガソーラー関連の投資により資産は増加

(単位：百万円)	2014年3月期末	2015年3月期末	増減
資産合計	4,140	5,059	+918
流動資産	2,025	2,090	+64
有形固定資産	535	1,208	+672
無形固定資産	1,026	1,219	+192
投資その他の資産	548	538	▲9
繰延資産	4	2	▲1

● 負債・純資産

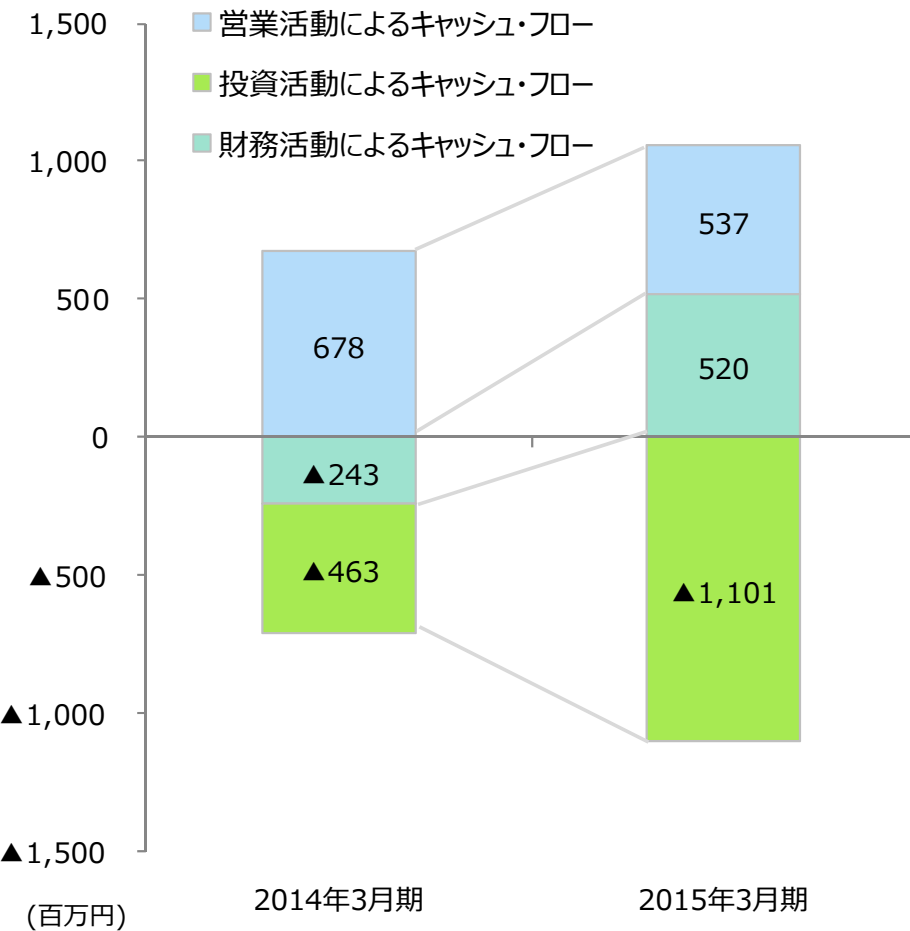


負債合計	2,089	2,894	+804
流動負債	1,371	1,784	+412
固定負債	718	1,110	+391

純資産合計	2,051	2,165	+114
株主資本	2,063	2,177	+113
新株予約権	▲12	▲12	-

自己資本比率は43.0%（前期末比6.8ポイント低下）

1-6 連結キャッシュ・フロー



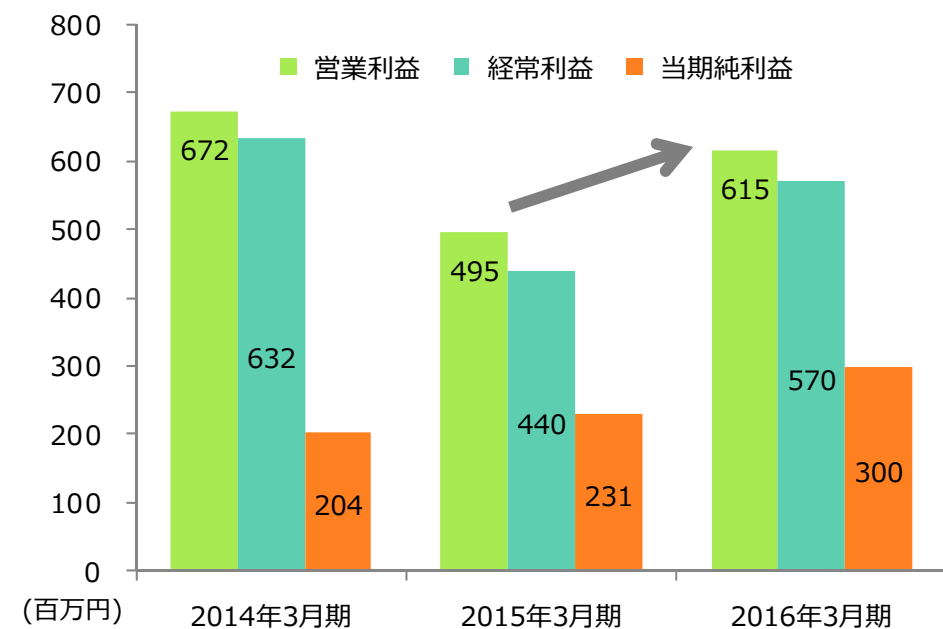
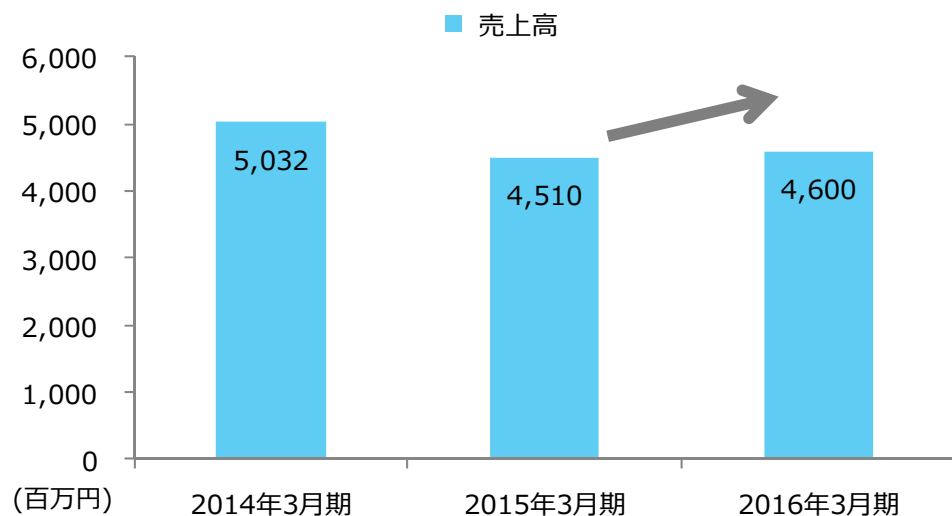
	2014年3月期	2015年3月期	前期比増減額
(単位：百万円)			
営業活動によるキャッシュ・フロー	678	537	▲141
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲463	▲1,101	▲637
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲243	520	+764
現金及び現金同等物の増減額	▲29	▲44	▲14
現金及び現金同等物の期首残高	910	881	▲29
現金及び現金同等物の期末残高	881	837	▲44

- ・太陽光発電所第2号の建設等により、投資活動による使用額が増加。
- ・財務活動においては、短期および長期借入金により資金を調達。

2 2016年3月期の見通し①

● 連結業績予想

当期を底として、次期は増収増益へ転換を目指す



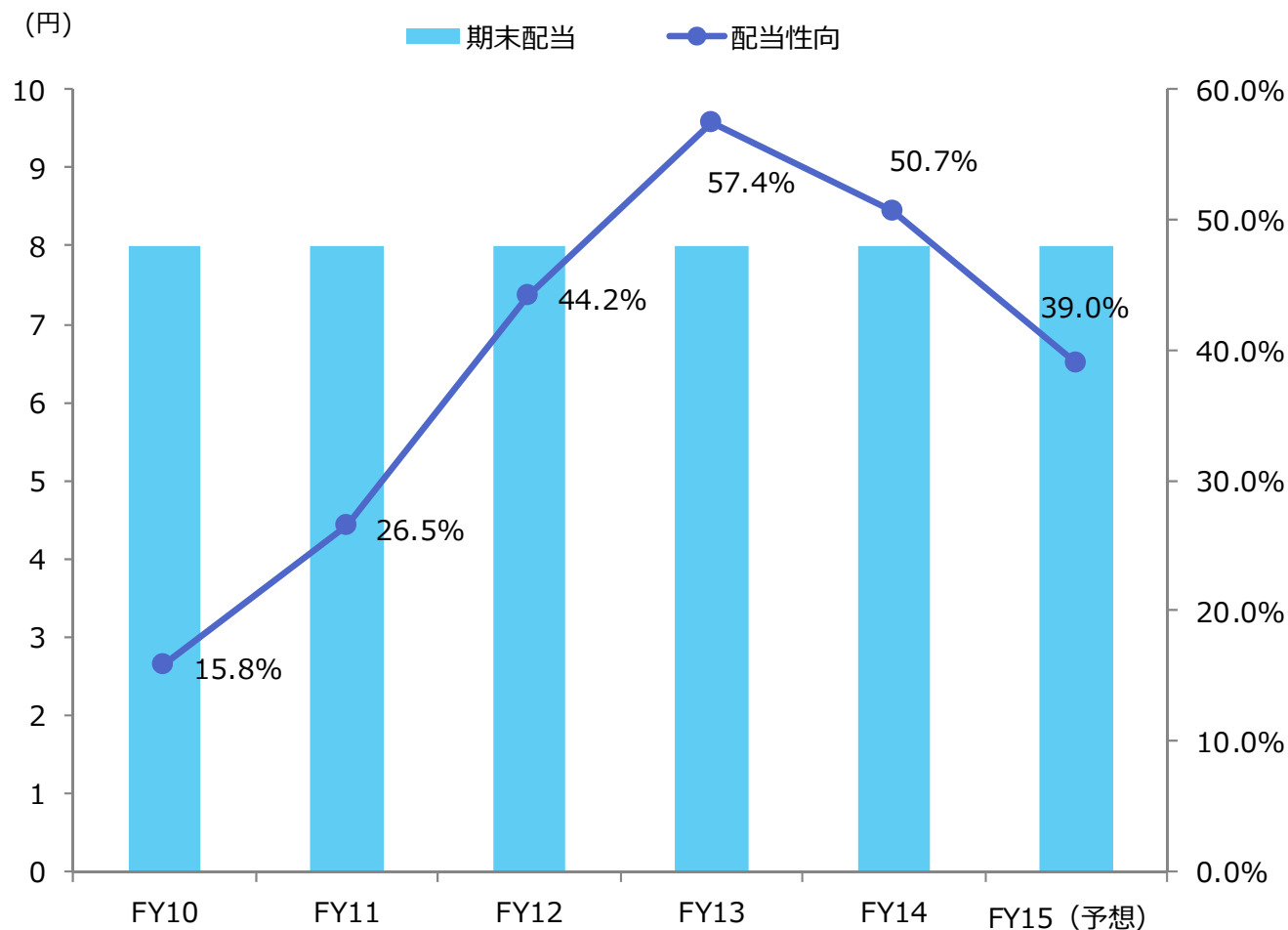
(単位：百万円)	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期 連結予想	前期比
売上高	5,032	4,510	4,600	+2.0%
営業利益	672	495	615	+24.0%
経常利益	632	440	570	+29.5%
当期純利益	204	231	300	+30.0%

●セグメント別売上高

モバイル事業の減収をコミュニケーション事業でカバー、増収へ

(単位：百万円、百万円未満を切捨て)	2015年3月期 [実績]	2016年3月期 [計画]	前期比	
			(額)	(率)
コミュニケーション事業	1,285	1,542	+256	+20.0%
WEB広告販売	1,232	1,487	+254	+20.6%
顧客満足度ランキング連動型広告	635	826	+191	+30.1%
バナー型広告・タイアップ型広告等	597	660	+63	+10.5%
データ・コンテンツ販売等	53	55	+2	+4.5%
モバイル事業	1,590	1,315	▲274	▲17.3%
フィーチャーフォン向け（着うたフル・着うた・着メロ・情報系）	1,189	912	▲277	▲23.3%
スマートフォン向け音楽配信	401	403	+2	+0.6%
雑誌事業	941	845	▲96	▲10.2%
データサービス事業	548	553	+5	+1.1%
その他（ソーシャルゲーム事業・太陽光発電事業等）	144	343	+196	+136.0%
売上高合計	4,510	4,600	+90	+2.0%

● 配当金について 株主還元を最重要視し、可能な限り安定配当を継続する方針です



● 2015年3月期 (当期)

期末配当

1株当たり **8円**の配当実施

● 2016年3月期においても

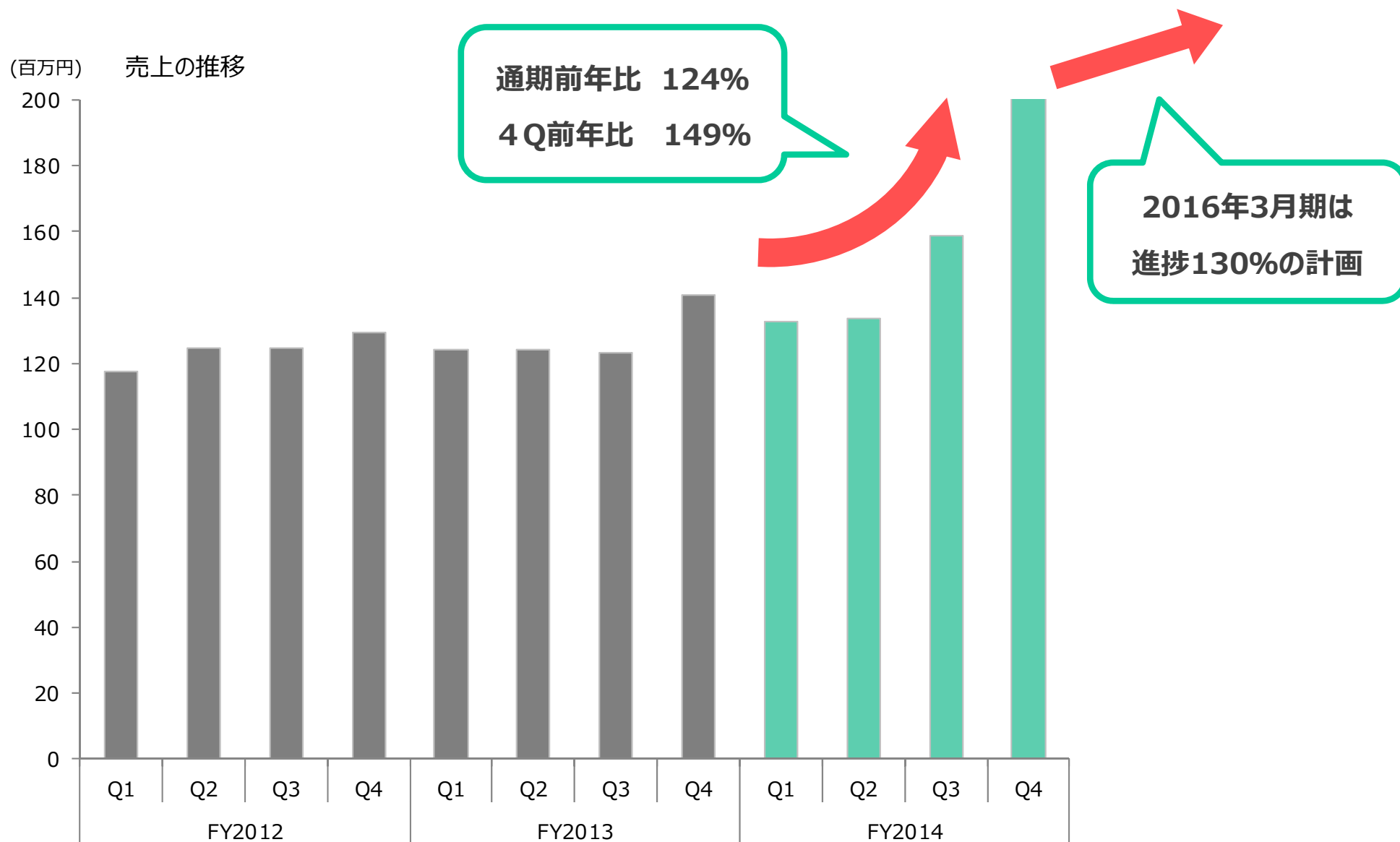
期末配当

1株当たり **8円**の配当予定

(注) 当社は平成25年4月に普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。

推移比較のため分割以前の数値を分割以降の単位に換算して表示しております。

◆顧客満足度(CS)ランキング連動型広告 ジャンル拡大が奏功し、売上が大きく伸長



～さらなる成長に向けて～

ブランドリニューアル

収益の源泉である指標の信頼性向上、ブランド力の強化と維持



オリコン日本顧客満足度調査

満足を可視化する。



売上の拡大施策

・ランキングの拡充 ・新規の商品・売上施策 ・広報宣伝の強化など



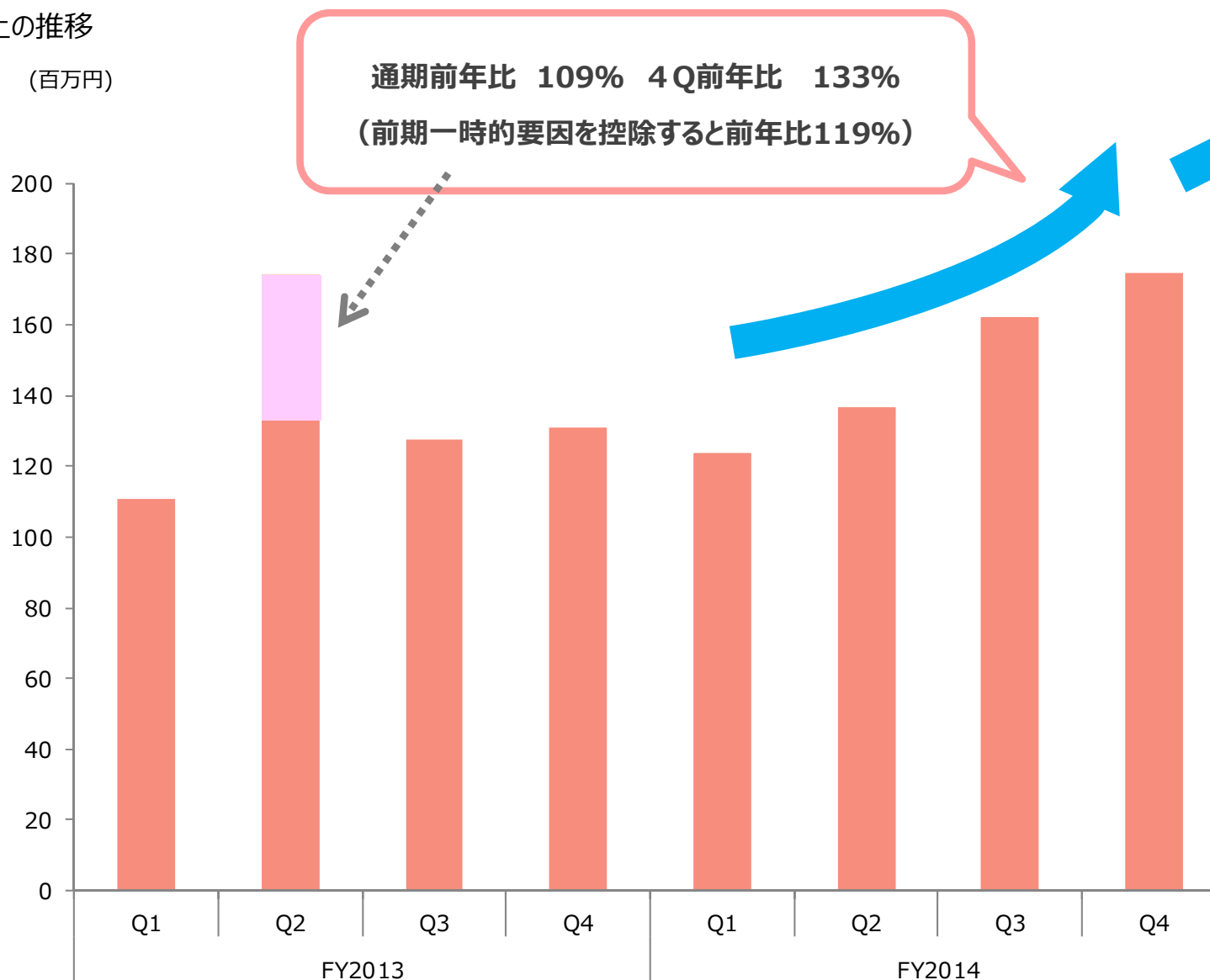
グループの主力事業にまで成長を目指す

◆WEBサイトバナー・タイアップ型広告

バナー・タイアップともに堅調

売上の推移

(百万円)



2016年3月期は
進捗110%の計画

～今後の注力ポイント～

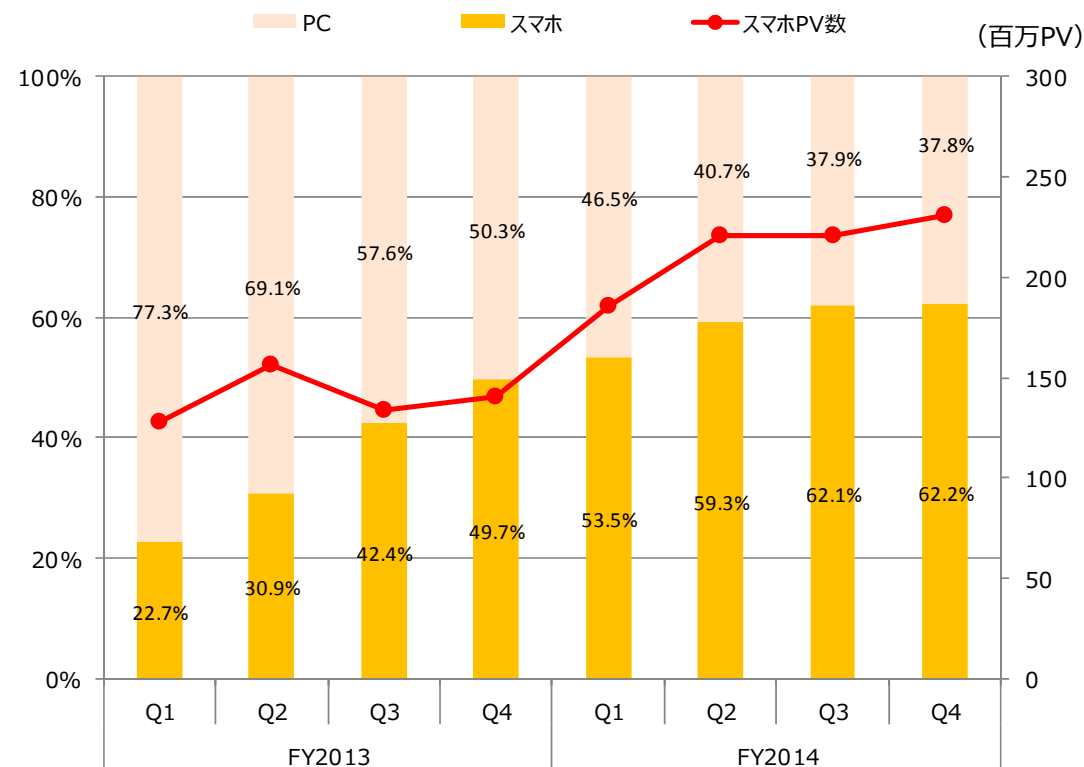
ニュースコンテンツの拡充

- ・配信先拡大
59⇒100サイトへ
- ・動画ニュースの展開
- ・記事のクオリティアップ

スマホの売上増

- ・PCからスマートフォンへ
- ・PV数を110%に
- ・高単価タイアップ獲得

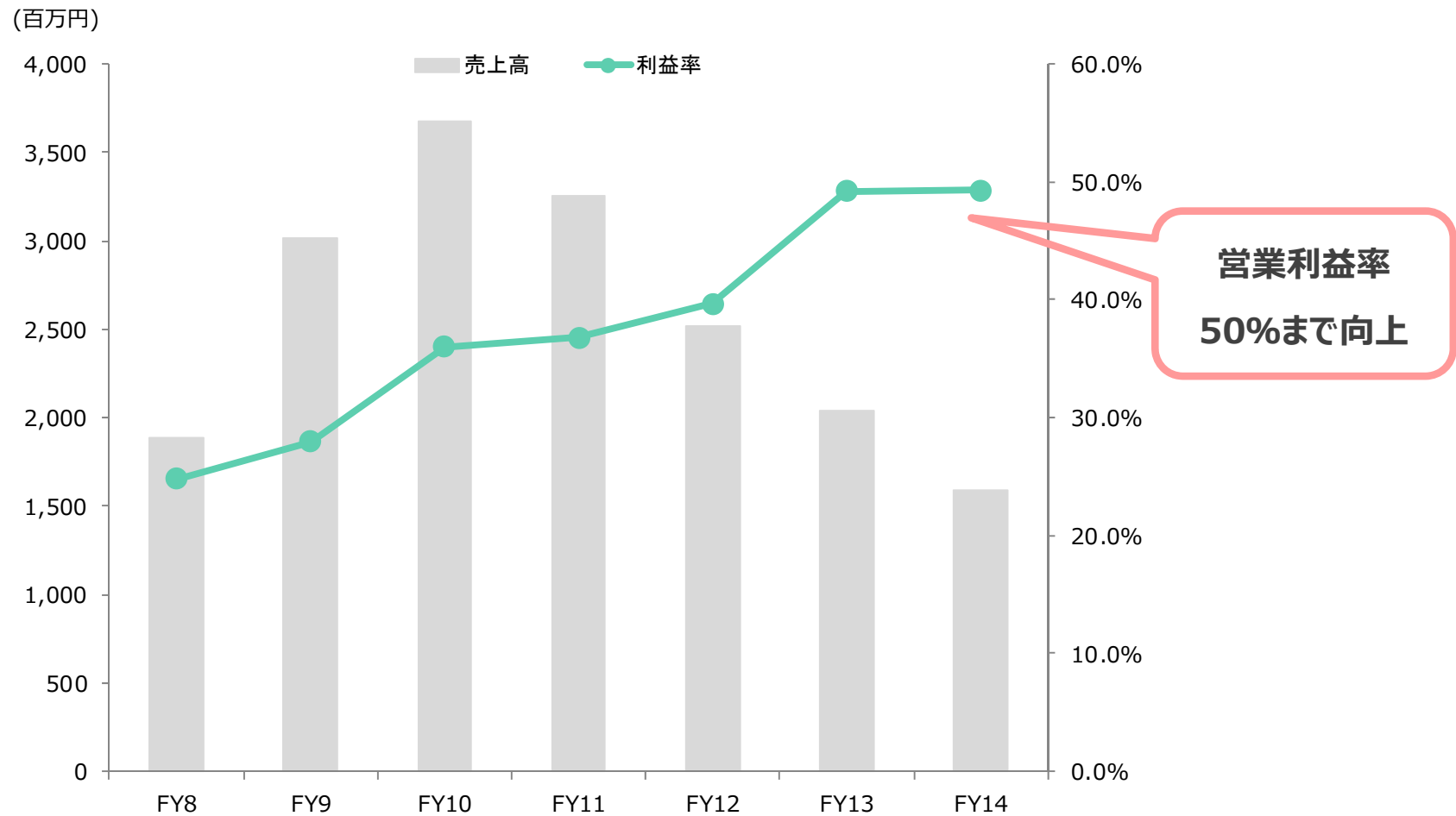
バナー売上のPC・スマートフォン比率とスマートフォンPV数推移



さらなる売上拡大へ

◆モバイル事業

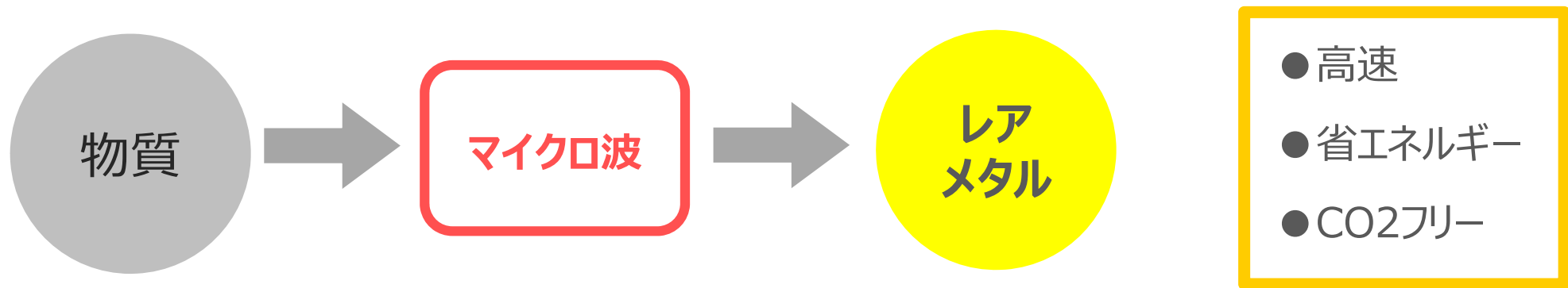
減収が続く中、利益率の確保・維持に主眼を置いて注力してまいりました



次期においても、利益率の維持を目指します

◆エネルギー事業

- 東京工業大学内に共同研究講座を開設 平成26年8月より稼働中
⇒戦略的鉱物資源であるレアメタルの製造をマイクロ波を用いて行う研究



次期初には実証機が完成⇒実用化に向けた技術開発へ

- 長崎県大村市のメガソーラーから47,969千円の売電収入
栃木県矢板市に第2号メガソーラーの設置を2014年5月に決定
- マグネシウム燃料電池関連の研究成果(東北大学小濱泰昭名誉教授実施の研究成果6件)のうち1件(基本特許と言えるもの)を2014年6月に共同出願者(東北大学および産総研)と特許庁に対し審査請求を行い、2014年10月17日に特許権付与
2015年1月29日付で(株)StoMに対して「独占的ライセンス」を許諾いたしました

◆ビッグデータを活用する取組み

日本株式の総合情報サービスを目指し、過去10年間に亘る全上場銘柄を対象に、200を超える説明変数（分析要素）を分析

総合的な投資戦略モデルへ



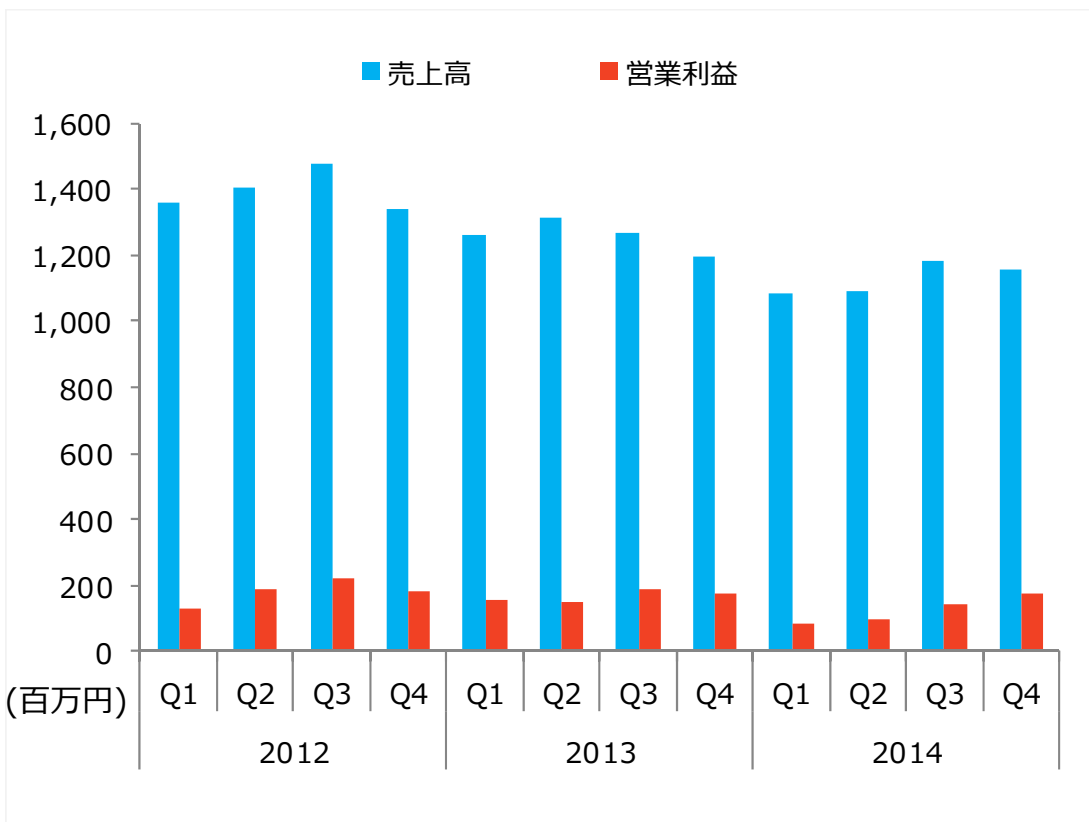
実績（トラックレコード）
の蓄積必要



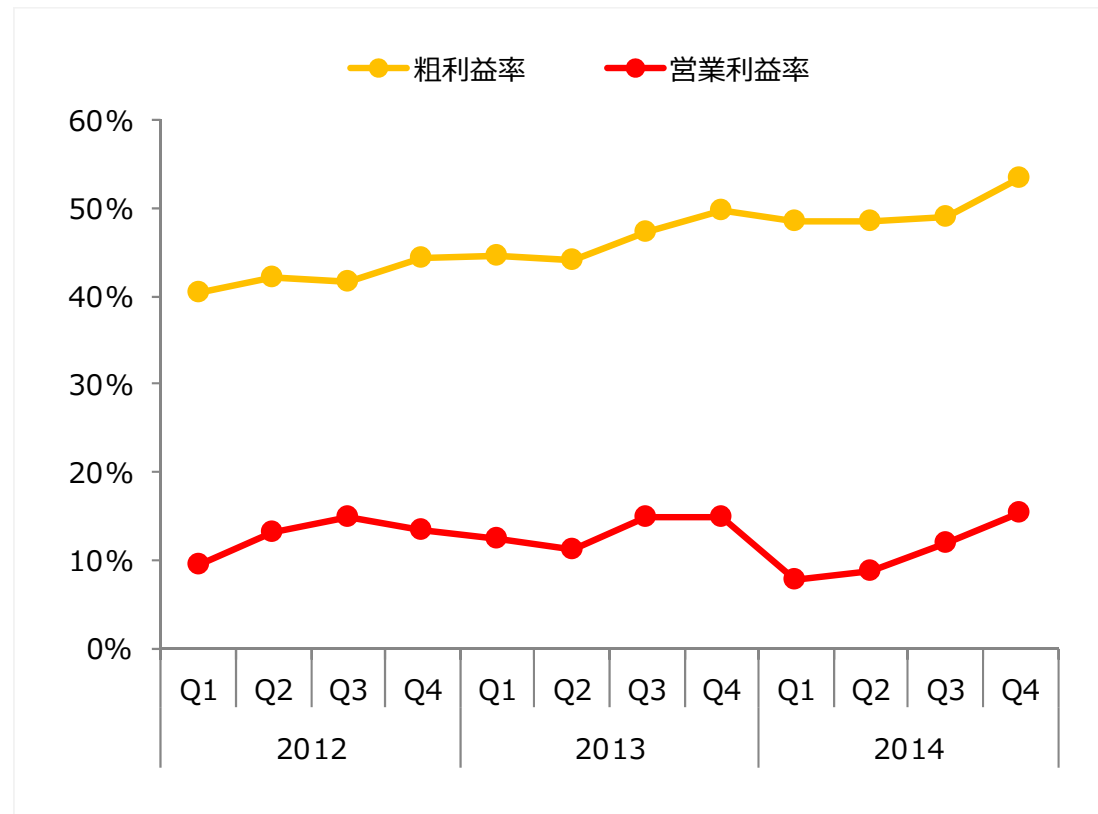
まず自社で運用開始 ⇒ 実績を元に様々な事業展開の足掛かりへ

4 【ご参考】各種実績データ①

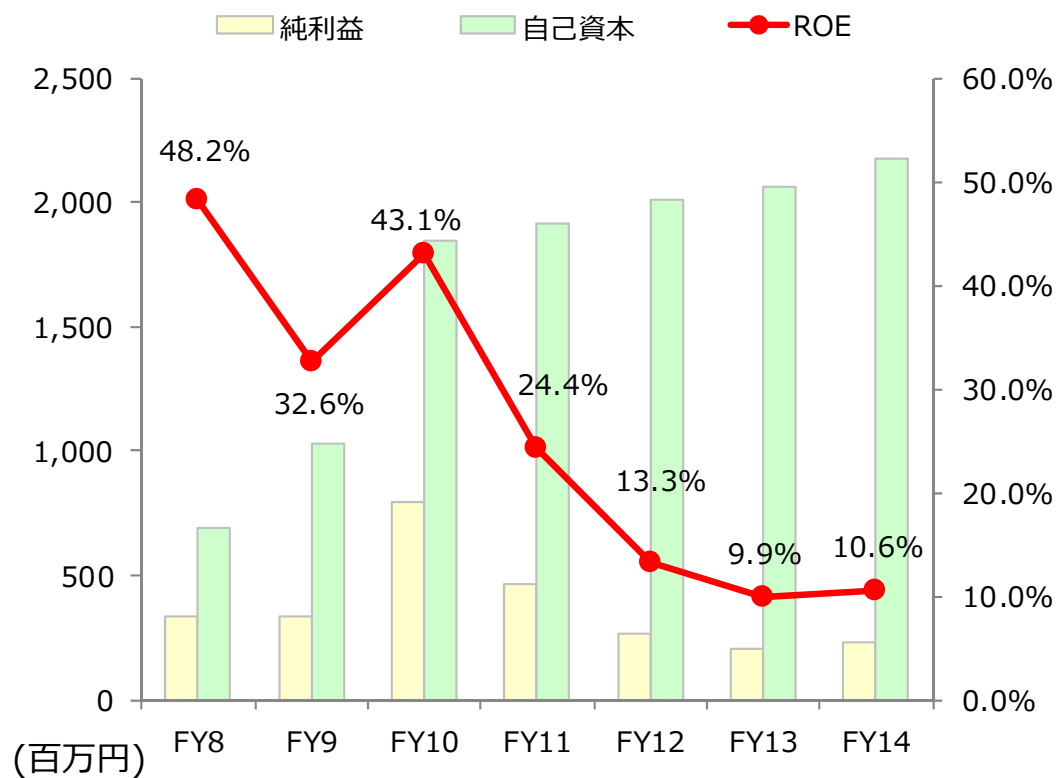
◆ 四半期推移



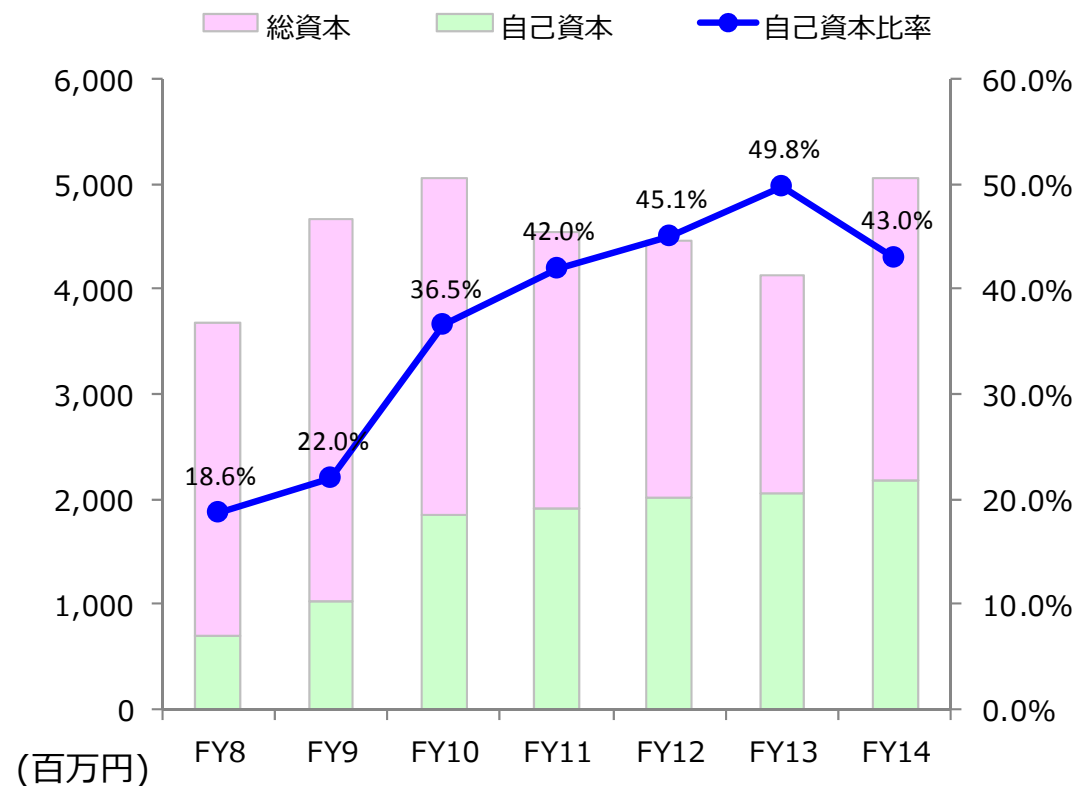
◆ 利益率



◆ ROE



◆ 自己資本比率



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 着うた、着うたフルは、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

※ その他記載されている製品名、サービス名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

オリコン株式会社
<http://www.oricon.jp/>